

## 「読取革命」 応用操作編 表の認識について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本手順書は、表や下線がついている文字を文字認識する時の手順を記載しております。

ご不明な点やご質問などがございましたら、お気軽にお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

基本的な操作方法は「読取革命」取扱説明書をご参照ください。

「読取革命」の操作に関するサポートは下記の窓口にて承っております。

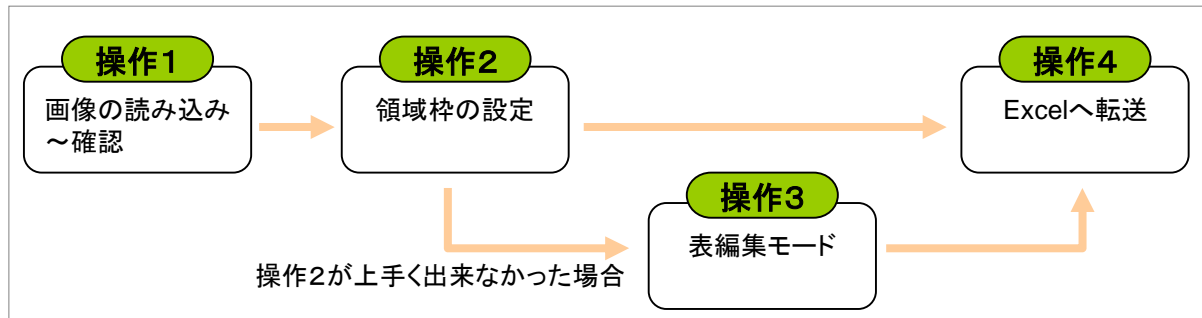
名称	P3カスタマーサポートセンター
TEL	03-3436-1888
FAX	03-3436-1889
ホームページ	<a href="http://panasonic.jp/support/p3/">http://panasonic.jp/support/p3/</a>
受付時間	月曜日～金曜日（土日・祝日・弊社休日を除きます） 10:00～12:00 12:45～17:00

## 解説

### 表認識とは

表認識とは、表や文字に下線がついている箇所などを認識するための認識方法です。表や下線などの罫線と、枠内の文字を文字認識します。

## 操作の流れ



## 操作1

### 画像の読み込み～確認

文字認識する画像を「読取革命Lite」へ読み込みます。

## 画像読み込み・読み込んだ画像の確認ポイント

- ▶ スキャナーで読み込む時の解像度は400dpiに設定します。
- ▶ 薄い原稿は濃度調整やコントラストを使用し、濃く読み取ります。
- ▶ 読み込んだ画像は、正しい向きに修正してから認識を行います。
  - ・メニューバー[画像]-[回転]
- ▶ 傾いている画像は、傾き補正を使用して修正します。
  - ・メニューバー[画像]-[傾き補正]
- ▶ 画像にノイズや汚れがある場合は、ノイズ除去や消しゴムモードを使用して修正します。
  - ・メニューバー[画像]-[ノイズ除去](白黒2値の画像のみ使用可能)
  - ・メニューバー[編集]-[消しゴムモード]

次の操作2より、表認識をするための操作手順を案内します。

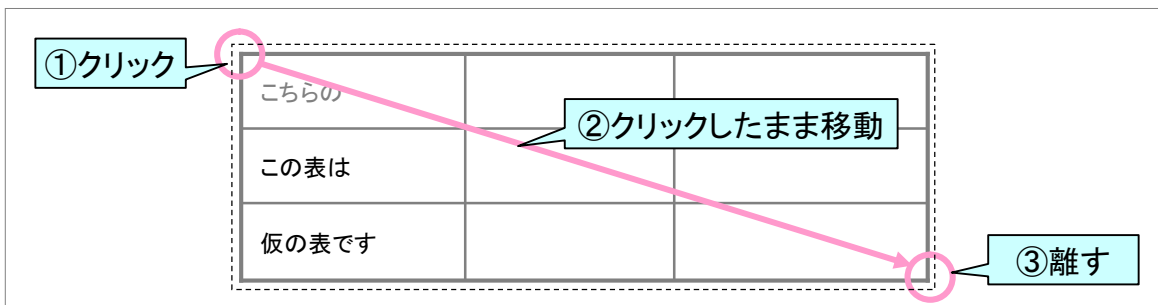
## 操作2

### 領域枠の設定

表として文字認識するために、領域枠(文字認識する範囲)の設定をします。  
ここでは手動で領域枠を作成・設定する方法を案内します。

#### 1: 文字認識する表を範囲指定します

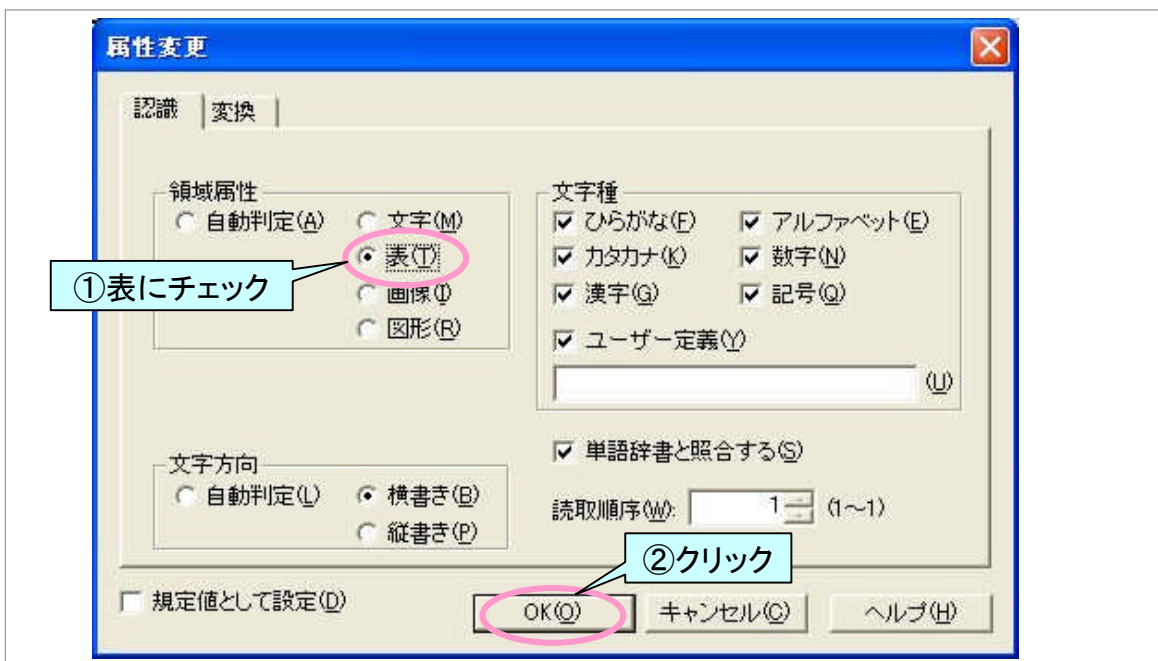
範囲指定した箇所が黒い破線で囲われます。



#### 2: 範囲指定した枠内をダブルクリックします

属性変更画面(下図)が表示されます。

#### 3: 属性変更画面で表として設定します



#### 4: 範囲指定した箇所が紺色の罫線で囲われます

表内の罫線にも紺色の罫線が作成されている → **操作4** へ進みます

表内の罫線に紺色の罫線が作成されていない → **操作3** へ進みます

### 操作3

## 表編集モードで編集

表として設定した領域枠内の罫線が、画像の表(罫線)と同じように設定できていない場合は手動で領域枠の罫線追加・削除をします。

画像内の表	領域枠(紺色の枠)																		
<table border="1"><tr><td>こちらの</td><td></td><td></td></tr><tr><td>この表は</td><td></td><td></td></tr><tr><td>仮の表です</td><td></td><td></td></tr></table>	こちらの			この表は			仮の表です			<table border="1"><tr><td>こちらの</td><td></td><td></td></tr><tr><td>この表は</td><td></td><td></td></tr><tr><td>仮の表です</td><td></td><td></td></tr></table>	こちらの			この表は			仮の表です		
こちらの																			
この表は																			
仮の表です																			
こちらの																			
この表は																			
仮の表です																			

罫線が作成されていない

罫線がずれて作成されている

左図のような表に対して、右図のように領域枠(紺色の枠)が設定されていない箇所があったり、画像の罫線と違う箇所に設定されると、正しく文字認識できません。

### 1: 表認識モードに変更します


表の領域枠を編集するモードに切り替えます。(表として設定した領域枠が作成されている必要があります。)

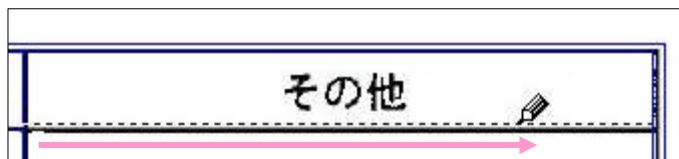
1. メニューバーの[編集]をクリックします。
2. [表編集モード]をクリックします。  
画面上に下図の[選択]ダイアログが表示されます。

### 2: 領域枠を編集します

#### 罫線の追加




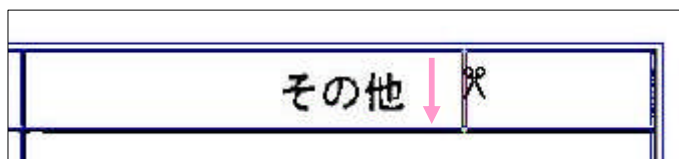
1. [選択]ダイアログの  をクリックします。  
マウスカーソルが鉛筆に変わります。
2. 罫線を追加したい場所に、鉛筆で線を描くようにマウスを動かします。



#### 罫線の削除

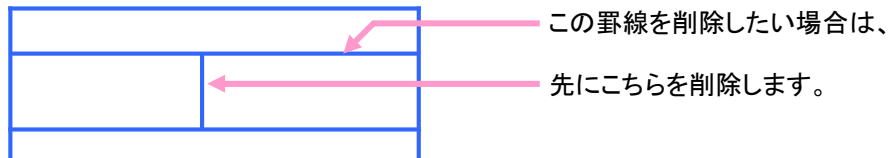


1. [選択]ダイアログの  をクリックします。  
マウスカーソルがハサミに変わります。
2. 削除したい罫線を、ハサミでなぞるようにマウスを動かします。



### 罫線削除のポイント

- ハサミの左側の刃を削除したい罫線にあわせてなぞります。
- 削除したい罫線の途中に接している罫線がある場合は、削除できません。削除できない場合は、接している罫線を先に削除します。



### 3: 領域設定モードに戻ります

領域枠の修正が終わったら、表編集モードを終了します。

1. メニューバーの[編集]をクリックします。
2. [領域設定モード]をクリックします。

### 操作4

## Excelへ転送

文字認識を実行し、結果をExcelに転送します。

### 補足

## 転送後のポイント

Excelに転送後、修正する際のポイントを記載します。

- ▶ Excelに転送すると、罫線の色が入っていない場合があります。その場合は、Excelの罫線作成機能を使用し、手動で修正をします。
- ▶ 表の一つのセルに複数行の文字がある場合、Excelに転送・保存すると改行が無くなり文章がつながった状態になる場合があります。こちらは仕様となりますので、手動で改行を入れて修正をします。
- ▶ Excelに転送すると、表の下部が見えない場合があります。その場合は、表が入っているテキストボックスを広げていただくか、フォントサイズを小さく設定していただき、余分な改行を削除する等の修正をします。